



和菓子職人と栗園の管理者として活動している角村茂さん。

「下草を刈る際に、生きものの生活環に合わせて、(栗園内の)場所ごと、季節ごとに下草を管理してほしい」彼のこの言葉は、生態系の循環を考

この栗園を含む山の購入を地主から打診されたのは、栽培を始めて3年ほどが過ぎた頃のこと。「経済的負担もあり悩みましたが、これまで注いできた努力を無駄にしたいくないという一心で、2019年に購入しました」同時に重機を導入し、道や水路の整



環境を持続的に維持するには個人管理では限界があります。継承の形で引き継ぐ必要がありますが、後継者確保は容易ではありません。関心と呼ぶために、土地の知名度を高めることが重要です。「自然共生サイト」認定にはこうした利点があり、土地のブランド化を通して、持続的な里山保全につなげられます。

備、間伐といった作業に着手。閉ざされていた山に光が入るようになると、エリア一帯の植生が多様化し、希少な生物が息息する豊かな里山へと再生していきました。

### 里山環境を守る営みが次世代のまちの財産に

その環境を象徴するのが、大阪でこ

ここでしか確認されていない希少な蝶

キマダラルリツバメです。調査に訪れた貝塚市立自然遊学館の天満和久博士は「薬剤を使わず、豊かな植生が残っているからこそ飛来するのではないかと」分析します。

また、博士と行動を共にするジュニア学芸員の鞍井希風くんの存在も欠かせません。

「下草を刈る際に、生きものの生活環に合わせて、(栗園内の)場所ごと、季節ごとに下草を管理してほしい」彼のこの言葉は、生態系の循環を考



自然共生サイト

case 3

【大阪府豊能郡能勢町】  
銀寄栗のふるさと

## 自然の摂理を尊ぶ里山管理で「能勢の銀寄栗」をいつまでも

農業に頼らぬ栗栽培と生態系に配慮した山林整備を行い、経済活動と豊かな自然が両立する環境を守り続けています。

### 銀寄栗存続の危機を受け 未経験から農に挑戦

大阪府の最北端に位置する能勢町。名産は栗、なかでも銀寄栗の発祥の地として名を馳せてきました。銀寄栗は「栗の王様」とも称され、大粒で甘みが強いのが特徴。その味わいから、和菓子の素材としても重宝されています。大阪府吹田市で御菓子司「津村屋」を営む角村茂さんも、その価値に注目した一人。

店の看板商品にふさわしい銀寄栗を求め、当時、町内の各地で開かれていた朝市へ。そこで出会った生産者から仕入れを行うようになりました。しかし、直接やりとりを重ねるうちに、農家の高齢化が進み、年々、収穫量が減っていることを知ります。



栗の木と共に、生態系のために下草も維持している栗園。

え試行錯誤を続けてきた角村さんの興味を強くそそるものでした。これを機に、草刈りは、生物の出現時期を避けて樹冠下周辺だけに留めるように。イノシシやシカなどの獣害対策も講じながら、環境の維持に取り組んでいます。このような細やかな管理により、栗の木は、銀寄をはじめ、数種あわせて百本を数えるまでに。丹精込めて育て

「このままでは能勢の栗がなくなってしまう」

そんな危機感を抱くなか、生産者から「自分で育ててみないか」と勧められ、2012年に栗栽培へと踏み出したのです。

### 栗の木の栽培をきっかけに 希少種が息づく里山へ

借り受けたのは約700㎡の区画でしたが、栗の木は、8割ほどが枯れ、残っていたのはわずか4本。苗木を植えるところからのスタートでした。しかも農業は未経験。まずは講習会で基礎を学び、先代にならって農業に頼らない環境保全型の栽培方法を選択。剪定や下草刈りを重ねながら樹勢を養うことで、次第にかつての活気がよみがえっていきました。

上げた、自慢の栗で作る和菓子は、今や行列ができるほどの人気商品に。でも、相手は自然。思うようにいかない時もあります。収益性だけを追い求めては、この過酷な道は続けられません。どんなときも角村さんが前向きに活動し続けられるのは、ささやかなことに喜びを見出す「楽しみ上手」な一面があるからにはほかなりません。

### 遊び心が育む里山の未来 兆しを力に、次なる百年へ

「木や自然の回復には時間がかかります。でも、少しずつ兆しが見えてくるのがやがていなんです。例えば、能勢の町花であるササユリ。昨年、はじめてその葉を見つけました。栗はもちろん、こういった能勢ならではの豊かな環境を、次の世代に手渡していきたいと思っています」(角村さん)

### 環境再生保全機構 担当者から

生物多様性に配慮した栗栽培を実践し、農業と自然保全の両立を着実に形にしている点が特に優れています。地域の環境を守りながら魅力ある農産物を生み出す姿勢は、他の取組の参考として非常に示唆的です。

申請者/御菓子司 津村屋  
実施区域・面積/大阪府・0.8323ha  
活動類型/生物多様性の維持  
生物多様性の価値/③④⑤⑥⑦  
URL / <https://www.osakamon.jp/>



同サイトの活動中のエピソードや解説動画は、左記からご覧ください。